

# 令和7年度鹿児島県がん教育モデル校としての取組

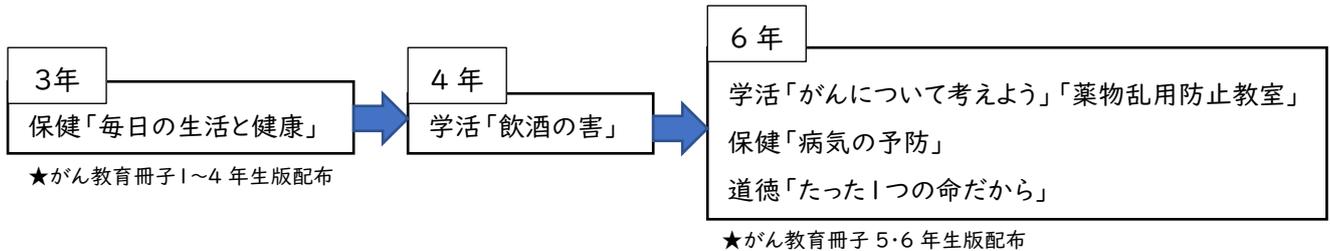
出水市立西出水小学校

## I 取組内容

### (1) 職員研修

今年度、がん教育に関する職員研修が組めなかったため、夏季休業中を利用して、文科省主催の「がん教育教材活用研修会及びがん教育外部講師活用研修会」のオンデマンド研修を全職員に受講するよう勧めた。

### (2) 本校のがん教育の位置づけ



### (3) 公開授業研修会(令和7年11月4日)

○ 本時の授業 6学年 学級活動「がんについて考えよう」

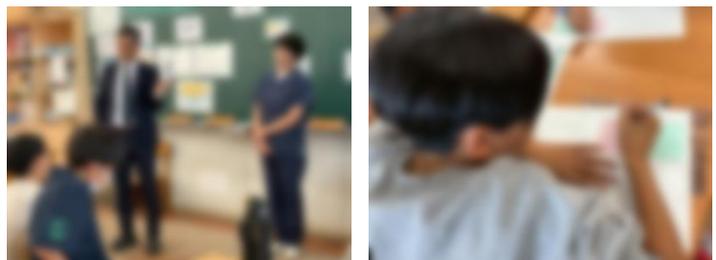
外部講師:医療法人隆英会 ますぎき医院 益崎 隆雄医師・益崎 直子看護師

本時のめあて	がんについて正しく学び、自分や大切な人たちのためにできることを考えよう。
導入	事前アンケート結果をもとにがんについて知っていることを確認し、日本のがんの現状について伝え、がん予防についての問題意識を持たせる。
展開	①担任と外部講師がQ&A方式で、文科省教材のスライドを活用しながら、がんの原因や予防、早期発見の大切さ等について伝える。 ②がんについて身に付けた知識を自分や大切な人のためにいかすことができるように、これからの生活で大切にしていきたいことをワークシートに記入し、全体で共有する。
まとめ	外部講師から自分や大切な人に関わる命を大切にしてほしいという思いを伝える。

## 2 成果と課題

### (1) 成果

- ・ 今回の外部講師は担任の知人だったため、事前の打ち合わせもスムーズに行えた。がんの原因や予防について、担任が質問し、医師と看護師が質問に答える形式で授業を進めたことで、子どもたちも情報を習得しやすかった。
- ・ がんの原因の6~7割は原因が不明であることをおさえた上で、医師から生活習慣やワクチン接種、検診等少しでも自分たちにできる予防の大切さについての話を聞き、自分事として考えることができた。



### (2) 課題と今後の展望

- ・ 系統的ながん教育となるよう、中学校区の小学校とも教育課程の位置づけや指導内容について情報を共有し、中学校まで系統的な指導が実施できるように検討していきたい。
- ・ 実際授業を行なう担任教諭のがん教育研修会やオンデマンド研修への参加を勧め、指導の充実を図っていきたい。